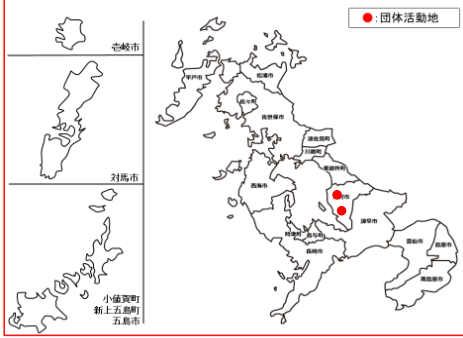


森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

団体名	木の会 かけす	【地区の概要・取組等】 活動開始・・・令和元年度/平成31年度(1期3年目) かつてミカンの栽培が盛んに奨励され、奥地にまで耕作されたが、現在多くが放棄され、森林化している。放置され、活用されていない放置林を資源供給源として、再評価されることを目指し、活動を行います。薪炭づくりのための資源の伐採、集積、加工を行いつつ、速やかな天然更新を図るため、下刈、除伐、萌芽の芽かきを行い、樹齢構成の多層化、資源利用の持続性サイクル化を実現する。一方で、遺伝資源の銀行としての大径木の育成を同時に進め、管理と利用が一体化した森と人の共生関係を再構成します。1年目、2年目の2年間で自然枯損木の除伐、一部資源利用択伐を行い、薪炭の生産を行いました。今年度はその拡大とともに、より有用樹種の多い林相へ転換を図る下刈り・除伐作業、植林作業を行い、薪炭利用以外の林産資源を有する森林育成を続けていきます。
団体住所	大村市	
活動区域	大村市荒平町、日泊町、須田ノ木町	
構成員数	18名	



	地域環境保全タイプ		森林資源 利用タイプ	森林機能 強化タイプ	空間利用タイプ (H25～H26) 教育研修タイプ (H27～H30) 関係人口創出・維持タイプ (R3～)	資機材購入
	里山林保全	侵入竹除去 竹林整備				
	(ha)	(ha)				
平成31年度 令和元年度	面積・回数・長さ		0.8ha	35m		ワイヤーメッシュ
	延べ人数		23人 (うち、一般1人)	2人		
令和2年度	面積・回数・長さ		0.8ha	37m		ワイヤーメッシュ 異形鉄筋 ステンレス針金
	延べ人数	0.2ha	20人	6人		
令和3年度	面積・回数・長さ		0.8ha			
	延べ人数	0.1ha	5人	14人		